

まずい 食器に汚れ 油に虫混入

東住吉区の小学校給食 業者との契約解除

大阪市東住吉区の小学校で、給食に虫や異物が混入していたり、提供が遅れるなどの事案が相次いでいる問題で、大阪市委託は13日、同校の給食調理を委託していた民間事業者との契約を20日で解除すると発表しました。この間の大阪市議会でも問題になってきましたが、維新市政が進めてきた民営化路線の行き着く先を示すものです。

4月から問題 弁当の許可も

長判断で、副食の提供を中止

この小学校では、学校給食の委託事業者が変わった4月から問題が続出してきました。学校からの報告を基にした市教委のまとめでは、次のような事案がありました。

「フライヤーの油に虫が混入。油を交換して対応。給食提供に遅延はなかったが、調理主任が教職員に「加熱するから大丈夫」などの暴言

「フライヤーの調子が悪く、トンカツの一部が焦げる。焦げた分は特別配送後に調理し、1クラス分の提供が遅れる

「ぬれや汚れが確認された食器を多数確認。校

民営化の行き着く先

から不安や怒りの声が噴出。19日からは、校長が希望する児童に弁当の持参を許可するようになりました。

市教委が委託事業者に対し、委託契約の仕様書の内容に違反する事案が多数発生しているとして、是正計画を示すよう催告書を出したのは5月30日。今月13日の報告期限までには是正計画が示されない場合、契約を解除するとしていました。

維新市政下で 民間委託拡大

大阪府は2007年、小学校8校で民間委託モデル事業を実施。翌年から同じ8校で本格実施して以来、民間委託を広げてきました。12年以降の維新市政のもとで増え続け、ことし4月現在、小学校178校、小中一貫

校7校、中学校21校が民間委託となっています。学校給食のうち民間委託となるのは①「食品の検収」②委託先が食品の鮮度・品質・量目を検査する③「調理作業」④委託先が学校の給食室で調理する⑤「配缶」⑥委託先がクラスごとに配缶する⑦「洗浄・清掃」⑧委託先が食器や器具の洗浄・消毒、施設の清掃などを行う⑨の4つです。市教委は「学校給食調理業務の民間委託に関するQ&A」をホームページに掲載。「各学校の栄養教諭等の指示・検査のもとに本市が定めた献立と給食業務マニュアルなどに基づいて、学校側で給食をした上で給食を提供しますので、安全面・衛生面が低下するようなことはありません」と説明しています。しかし今回、安全・衛生面の根幹を揺るがす事案が多数発生してしましました。昨年10月にも、民間委託が実施されていた大阪府立中学校で、給食に提供された「牛肉の香味焼き」に使われた牛肉が生焼けだったことが原因です。

「何でも民間で」の流れ

今こそ見直すべき時だ

大阪市議会
教育こども委

山中智子議員が力説



質問する山中議員「10日、大阪市議会教育こども委員会

力説しました。

「民間でできることとは民間で」という今の流れでいいのかわからないので、親は心配でたまらない。火入れが足りない、費高騰の中で、もはや、そんな虫のいい話は通らない」と述べました。

東住吉区の小学校の給食問題は、大阪市議会教育こども委員会、5月20日に続き、10日にも議題となりました。日本共産党の山中智子議員は、「いのち輝く未来社会のデザイン」と、万博をやっている大阪市で、子どもが何を食べさせられるのか分からないので、親は心配でたまらない。火入れが足りない、費高騰の中で、もはや、そんな虫のいい話は通らない」と述べました。